

平成19年度 事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課		内線等	1143
事務事業名	臨時従事員・非常勤職員場間場外勤務事業			事業コード	2・内部管理事務事業	
根拠法令等	蒲郡市モーターボート競走事業臨時従事員の就業に関する規則外			C規則	Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	場間場外発売日に
手 段	規則等に基づき適正な労務管理をすることにより
想定する成果	円滑な場間場外発売開催に資する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
場間場外発売日数	単独 50日	併売 101日	単独 39日	併売 100日	単独 35日	併売 108日
延べ従事員数	10,452人		10,107人		10,311人	
臨時従事員費	142,771千円		141,365千円		155,365千円	

成果指標

成果指標名	場間場外発売1日当りの臨時従事員数	場間場外発売1日当りの臨時従事員費
成果指標の説明	臨時従事員延べ人数 / 場間場外発売日数	臨時従事員費 / 場間場外発売日数

事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		69.2人				72.7人				72.1人			
成果指標		946千円				1,017千円				1,086千円			
事業費	事業費	142,771				141,365				155,365			
	人件費	5,842				4,769				4,822			
	(人数)	正規	0.6	非常勤	0.5	正規	0.4	非常勤	0.7	正規	0.4	非常勤	0.7
	合計	148,613				146,134				160,187			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	148,613				146,134				160,187			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	売上見込、発売体制に応じた臨時従事員の採用に努めることができた。
経済効率性	2	2	2	2	臨時従事員の勤務体制、時間外手当及びその他の手当を見直すことにより、より経済効率を高める必要がある。
事務効率性	2	2	2	2	臨時従事員の場間場外発売における採用方法の見直しを図ることにより事務効率を高める必要がある。
必要性	-	3	-	3	内部管理事務事業
小計	6	9	6	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	収益確保に大きな貢献をしているが、今後ナイト場の増加に伴い本場の売上は今以上に減少することが予想され、場間場外発売による収益確保が益々重要となる。
合計	9	9	9	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	現在の発売体制の中で十分な成果を挙げていると考えられるが、今後の売上動向を見極めながら、臨時従事員の勤務体制の見直しを図ることにより効率的な運営が可能である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H14評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H14評価時に)記載した「今後改善すべき点」
<ul style="list-style-type: none"> 自動発売機の導入により1日当りの臨時従事員数を削減する。 時間差出勤による時間外手当の削減を図る。
上記改善点の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> 自動発売機(T6)53台、自動発払機(T6)6台を導入した(H18.10.24)。 併売日の増加に伴い場間場外勤務者の採用をできる限り抑えた。

今後さらに改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 従事員数の減少により、併売時の時差出勤の導入を図る。
--

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

<p style="text-align: center;">拡大、充実</p>

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

